

エルサルバドル政治経済月報 (2023 年 4 月分)

2023 年 5 月
在エルサルバドル大使館

内政

- MS-13 幹部のメキシコでの逮捕及び米国への引き渡し（報道：ディアリオ・エルサルバドル）**
4 月 18 日、メキシコ当局は、エルサルバドルの主要犯罪組織「MS-13」の幹部でナンバー2 とされるホセ・ウィルフレッド・アヤラ・アルカンタラ氏（通称：ハリウッドインディアン）をメキシコ市で逮捕し、米国へ引き渡した旨明らかにした。またメキシコ当局は、同氏はメキシコに不法入国後にメキシコ市に潜伏しており、市民の通報が今回の逮捕に繋がった旨述べた。尚、エルサルバドル当局は同氏を 2020 年 7 月に逮捕した旨公表したものの、その後の裁判手続きに係る発表はなかった。そのため、今回メキシコで逮捕されたことで、同局が同氏を解放した後、メキシコに逃亡したとの見方が広まっている。

外交

- マルコ・ルビオ米上院議員（共和党所属）の当国訪問（報道：主要各紙）**
ブケレ大統領はマルコ・ルビオ米上院議員と当国大統領府において会談を行った。エルサルバドル側からは、ヒル外務大臣並びにマジョルガ駐米エルサルバドル大使、米国側からはダンカン当地米大使が同席した。また同会談では、ブケレ大統領の治安対策、米・エルサルバドル協力関係、並びに民主主義の重要性について議論された。
- インド SICA 政策・協力メカニズムの開催（外務省プレスリリース）**
ヒル外務大臣は、エルサルバドル政府を代表して、4 月 25 日にパナマで開催されたインド SICA 政策・協力メカニズムに出席した。同会合は、インドと SICA 加盟国の友好、経済及び協力関係を強化するとともに、現在のグローバルな課題を協働して乗り越える目的で開催された。

経済

- 韓国企業によるロス・チョロス高速道路拡大・高架橋建設工事の落札（報道：主要各紙）**
10 日、ロドリゲス公共事業大臣はロス・チョロス高速道路拡大・高架橋の建設工事の請負業者が韓国企業の東部（ドンブ）建設（Dongbu Corporation）に決定した旨を発表した。本件工事の費用としては韓国輸出入企業（Eximbank）が中米経済統合銀行（BCIE）と共に 4 億 1,000 万ドルの融資を行う。返済期間は 40 年間で金利は 0.15%となっており、また据置期間 10 年が設定されている。ロドリゲス大臣は、本融資は非常に条件が良い点、好条件の引き替えとして韓国企業が受注する条件が設定されていた点につき述べた。また、落札した東部建設も本案件に約 3 億 7,200 万ドルを出資することとなっているほか、工事を行う作業員はほぼ 100%がエルサルバドル人で、5,000 人以上が従事するとされている。
- 米スペース X 社による通信衛星サービス（報道：ディアリオ・エルサルバドル）**
4 月 12 日、米スペース X 社のイーロン・マスク氏は、同社が提供する衛星インターネットコン

ステレーション（注：複数の人工衛星を連携させてインターネットサービスを提供するもの）「スターリンク」のサービスの提供を当国で開始した旨自身のツイッターで発表した。

3. 通信用海底ケーブル敷設に係る動き（報道：ディアリオ・エルサルバドル）

4月17日、当地討論番組「Frente a Frente」に出演した当国電気通信監督庁（SIGET）のアギラル長官は、当国における通信用海底ケーブル敷設に係る調査を行っているとし、同調査は順調に進んでおり、同ケーブルの敷設が間もなく着工されるとの見方を示した。

4. IMF4条協議報告書の公表への不同意（報道：主要各紙）

国際通貨基金（IMF）は、今年3月20日にIMF4条協議報告書の作成を完了していたものの、当国政府からプレスリリース及び同報告書の公表についての同意が得られなかった旨明らかにした。同報告書の公表を認めない当国政府の立場に関し、当地経済学者の間では批判的な声があがっている。アセベド元エルサルバドル中銀（BCR）総裁は、公表を拒むことは、過去フローレス政権やサカ政権の際にもあったことで前代未聞のことではないとしつつも、当国の透明性を損なう行為であり、また、メンブレーニョ経済学者は、国内外の経済アナリストに対し悪印象を与えるものであり、同報告書には知られたくない事実が含まれているとの憶測が飛び交うだろうとした。